

【私立大学歯学部・歯科大学の受験状況】

日本私立学校振興・共済事業団 私学振興事業本部に私立大学・短期大学等の入学志願動向が掲載されています。

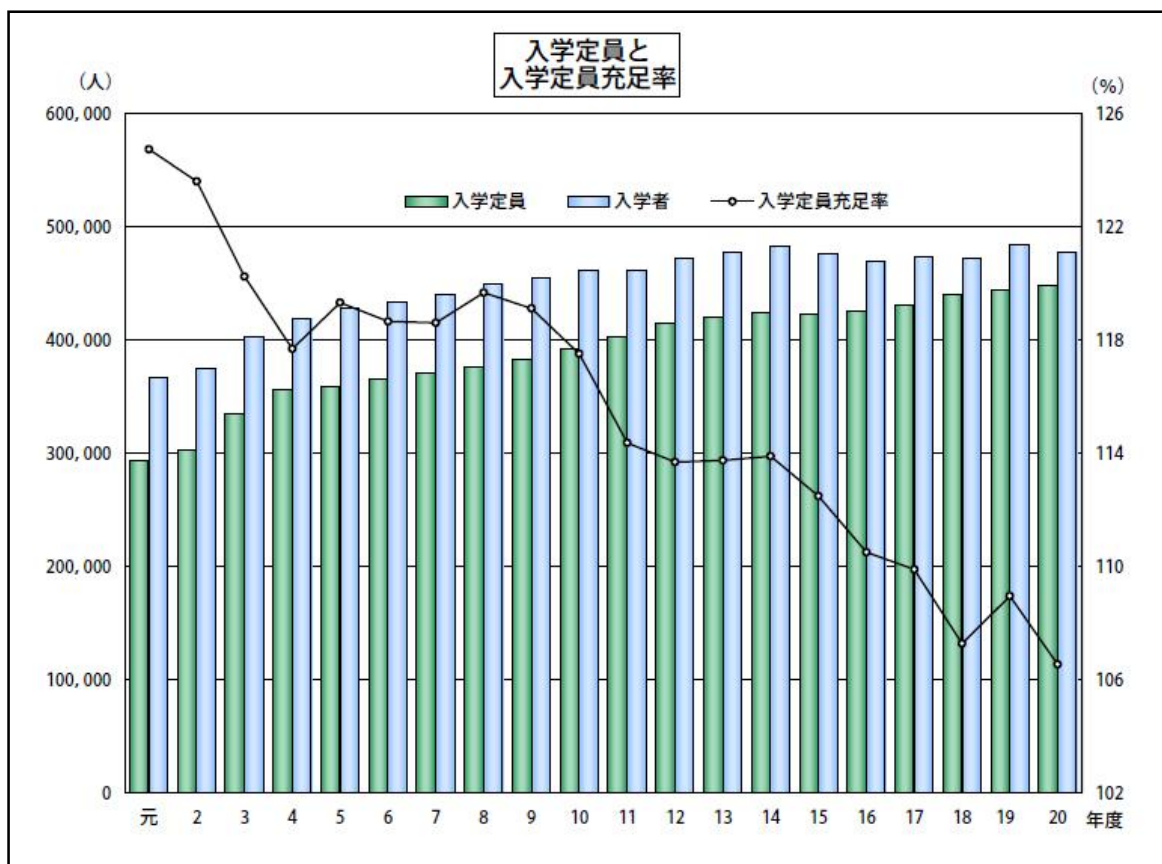
私立大学・短期大学等入学志願動向

http://www.shigaku.go.jp/s_center_menu.htm

今日本では、大学全入学時代と呼ばれる、大学への入学希望者総数が入学定員総数を下回る状況を迎えようとしています。

Wikipedia より

全入とはあくまでも全大学の定員数を統計した上での問題であり、誰もが志望する大学・学部に入れる、浪人生が存在しなくなるというわけでは決してない。この問題は **2009** 年問題もしくは **2007** 年問題とも呼ばれたが、少なくとも **2007** 年度入試では発生しないことが明らかになり、数年後へ先延ばしになるであろうという状況となっている。しかし、実際には **2000** 年頃から既に入る大学・学部さえ選ばなければ、経済問題などを除く入学選抜のみの点では誰でも入学できる状況になっている。



日本私立学校振興・共済事業団 私学振興事業本部

<http://www.shigaku.go.jp/shigandoukou20.pdf>

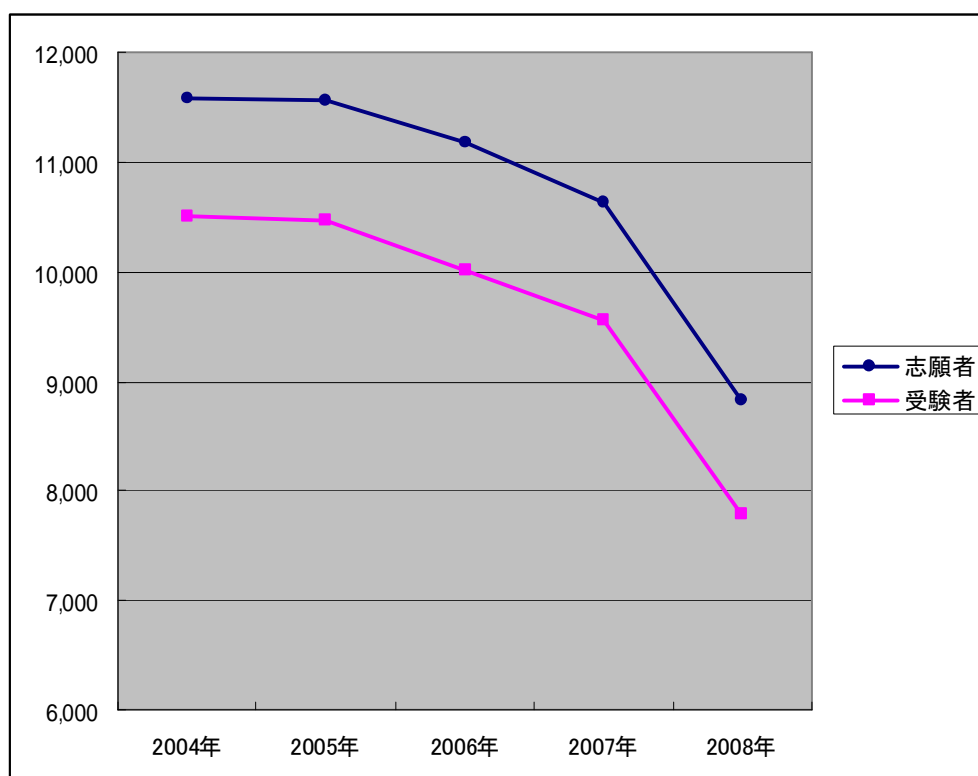
より

日本私立学校振興・共済事業団 私学振興事業本部のサイトのデータのなかから、歯科大学歯学部、歯科大学の入学志願動向を抜き出してみました。

データは平成 16 年度（2004 年度）から 20 年度（2008 年度）までのものです。（集計学部数は、17）

年度	集計学部数	入学定員 A	志願者 B	受験者 C	合格者 D	入学者 E	志願倍率 B/A	合格率 D/C	歩留率 E/D	入学定員 充足率
2004	17	2,215	11,573	10,508	2,859	1,931	5.22	27.21	67.54	87.18
2005	17	2,215	11,559	10,468	2,838	1,928	5.22	27.11	67.94	87.04
2006	17	2,215	11,188	10,012	3,050	1,936	5.05	30.46	63.48	87.4
2007	17	2,195	10,630	9,555	3,120	1,919	4.84	32.65	61.51	87.43
2008	17	2,195	8,832	7,784	3,380	1,850	4.02	43.42	54.73	84.28

まず、志願者、受験者をグラフで表してみます。



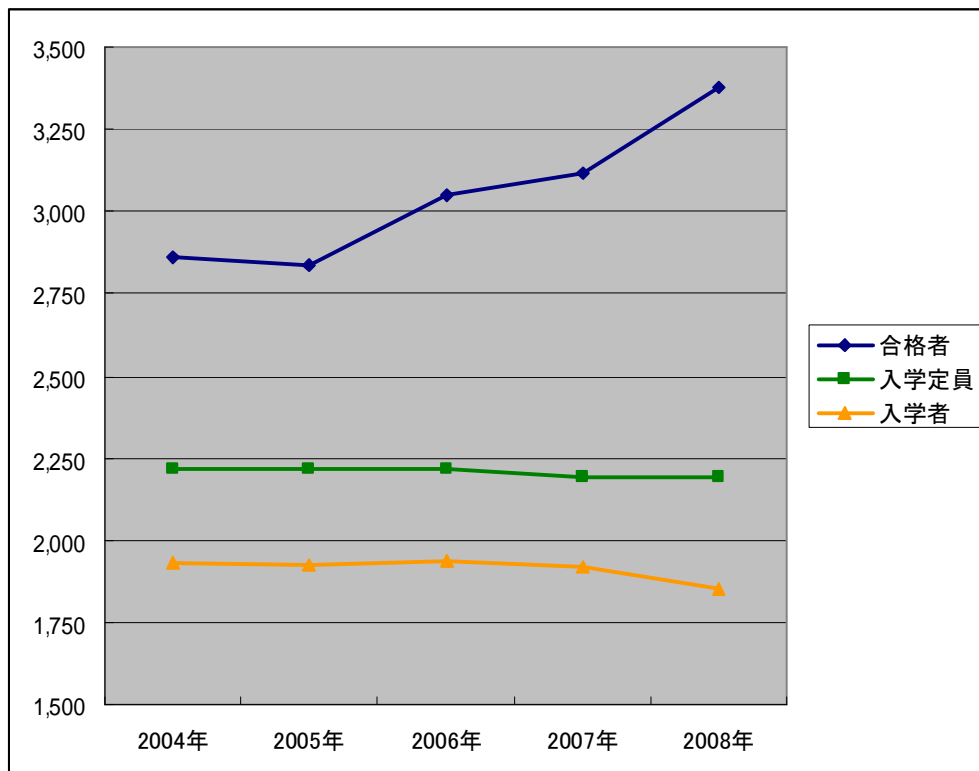
志願者、受験者ともに減少傾向にあります。

2008 年は 2004 年と比べると、志願者は 76.3%、受験者は 74.1%となっています。

特に 2008 年の落ち込みが激しいようです。

これは、少子化に加え、近年の歯科医師ワーキングプア報道が影響している可能性もあると考えられます。

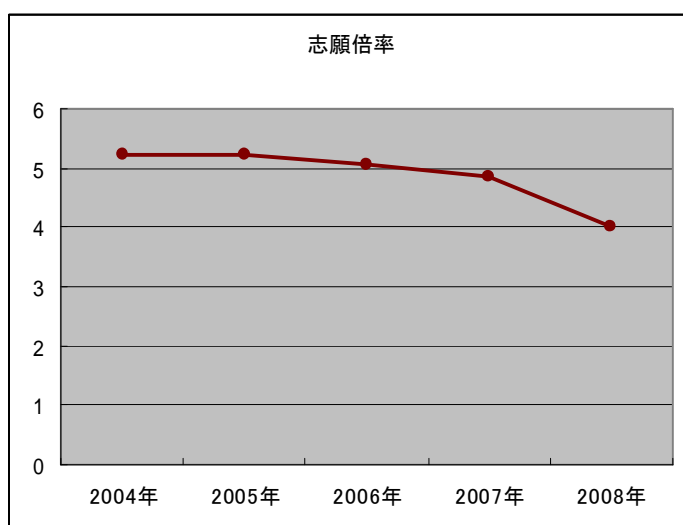
次に、合格者数、入学定員数、入学者数をグラフで表してみます。



受験者が減少する中、入学者を確保するためでしょうか、大幅に合格者は増加しています。しかし、このような大幅な合格者増大に反して、実際の入学者は減少傾向にあります。

上記のような状況ですので、志願倍率は、低下しています。

志願倍率とは、志願者/入学定員で表されるもので、入学者定員数に対して、どれくらい志願者があったかを示します。



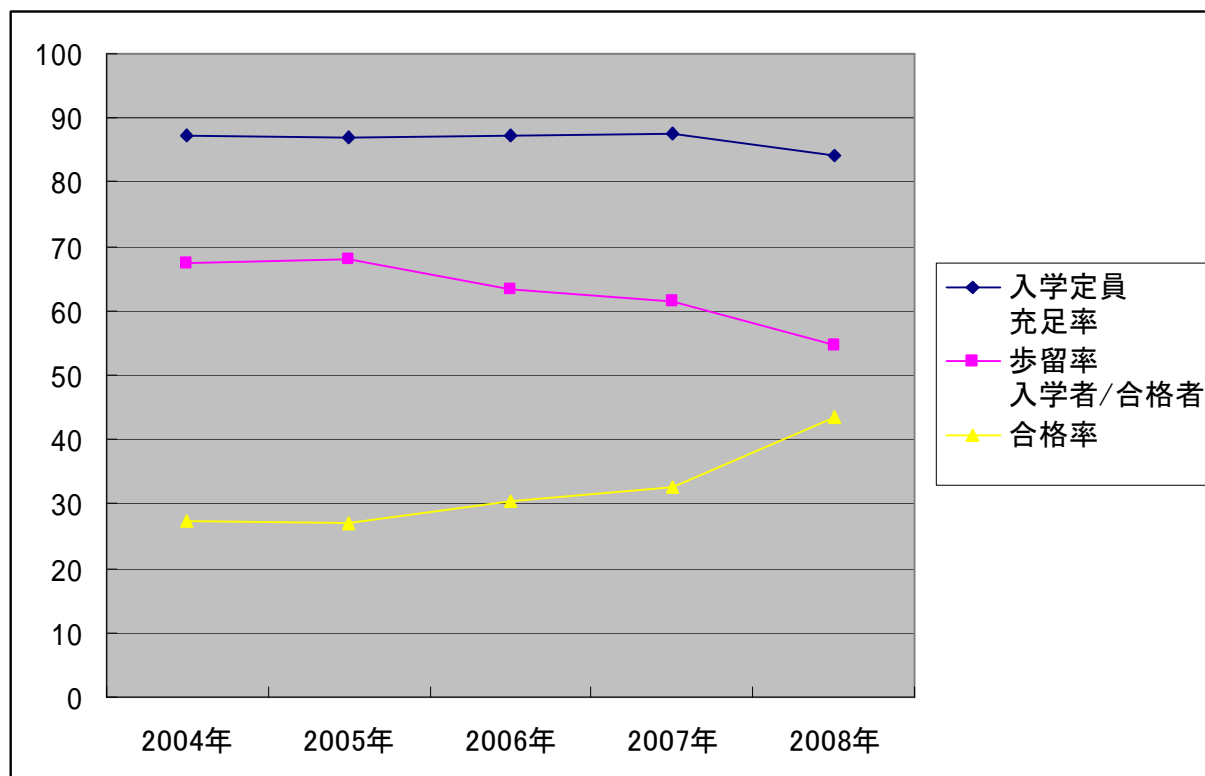
今の少子化の影響もあるでしょう。ただ、一定レベル以上の人材確保という面で懸念が出てくることは確かです。

次に入学定員充足率、歩留率、合格率のグラフです。

入学定員充足率とは、入学者/入学定員で表されるもので、入学定員に対する入学者の割合を示しています。

歩留率とは、入学者/合格者で表されるもので、合格した受験者のうちどれくらい実際に入学したかを示すものです。

合格率とは、合格者/受験者で表されるもので、全受験者中どれくらいが合格したかを示すものです。



ここ数年は、入学定員数を満たさない状況が続いています。合格率が上がり、合格者が増える中で、実際に入学する学生が減少しているため、歩留率は低下しています。

歯科医師過剰、歯科医師ワーキングプア報道、少子化など、歯科大学を取り巻く環境は年々厳しくなってきました。

歯科大学の定員が変わらない中、志望者・受験者が減ることで志願倍率は低下しています。大学側は合格者を増やすことで、何とか入学者数を維持している状態です。しかし、その入学者も減少傾向にあり、歩留率が年々低下、入学定員に満たない状況が続いています。このためか、歯科大学の中には学費を大幅に下げるところも出てきています。

この志願者減少の傾向が強まれば、それは、これから将来、歯科医療界が優秀な人材が確保できなくなるということを意味しています。優秀な人材が集まらないということは、最終的には、国民に良質な歯科医療を提供できなくなるということに繋がる可能性もでてきます。

歯科医師過剰問題は、もう歯科医師の経営問題を越えた、歯科医師の資質確保という次の段階に差し掛かっていると言えます。

ただし、このデータをみていくうえで、は注意点が一つあります。

各大学は、歯科医師過剰問題を受けて募集定員を入学定員より少なくしています。つまり、入学定員数と募集定員数は異なっています。

そこで、別の資料を見てみます。

社団法人 日本歯科大学協会のデータです。

平成 20 年度の入試の結果です。

<http://www.shikadaikyo.or.jp/result/index.html>

	募集人員	志願者	受験者	入学者
北海道医療大学歯学部	96	686	631	96
岩手医科大学歯学部	80	265	245	80
奥羽大学歯学部	96	357	284	96
明海大学歯学部	120	524	499	120
東京歯科大学	128	558	509	128
昭和大学歯学部	96	755	702	96
日本大学歯学部	128	553	411	127
日本大学松戸歯学部	128	556	476	128
日本歯科大学生命歯学部	128	902	794	128
日本歯科大学新潟生命歯学部	96	339	270	83
神奈川歯科大学	120	736	664	120
鶴見大学歯学部	128	683	622	128
松本歯科大学	113	128	105	40
朝日大学歯学部	128	533	495	128
愛知学院大学歯学部	128	603	493	128
大阪歯科大学	128	317	283	128
福岡歯科大学	96	337	301	96
計	1937	8832	7784	1850

(筆者注・・・入学者の赤字は入学者が募集定員を満たしていないことを示す)

募集定員は、日本私立学校振興・共済事業団 私学振興事業本部での入学定員 (2,195 名) と比べて少なくなっています。

この数値を用いれば、入学定員充足率 (正確には募集定員充足率) は 95.5%になります。(日本私立学校振興・共済事業団 私学振興事業本部のデータでは 84.28%)

2008/11/14

みんなの歯科ネットワーク

チュー

以下、これに関連したニュースです。

日歯 塩谷文科大臣に要望書

日本歯科医師会の久保満男会長・箱崎守男副会長と日本歯科医師連盟の蒲生洵副会長は 11 月 5 日、塩谷立文部科学大臣（静岡 8 区）を訪れ、平成 18 年 8 月 31 日に文部科学大臣及び厚生労働大臣の間で取り交わされた確認書を踏まえた 3 項目の要望書を手渡し、対応を強く要請した。

10 月 18 日の東海信越地区歯科医師会役員連絡協議会で、塩谷大臣が歯科医師需給問題等の解決に向け積極的な姿勢を示したことを受け、箱崎副会長が「文科省と日本語で対話ができるようになったのは、ここ 2～3 年のこと。それまでは歯科が何をいっても、文科省に通じることはなかった。今日、塩谷大臣から入り口の部分を課題にして文書を持ってきてほしいとの要請があった。日歯として責任を持って大臣にお届けしたい」と話していた。今回の要望書は、日歯がこれに即座に対応したもの。要望書は以下のとおり。

【要望書】

歯科医師過剰問題、歯科医師国家試験合格率の低下等により、近年、歯科大学（歯学部）の入学希望者が減少している。さらに、私立歯科大学（歯学部）の一部に定員割れが生じている。このような状況が継続すれば、歯科医師の資質の低下を招くおそれがある。国民に対して良質の歯科医療を提供するという責務を達成するために、平成 18 年 8 月 31 日に文部科学大臣及び厚生労働大臣の間で取り交わされた確認書を踏まえ、下記のとおり要望する。

記

1) 大学院重点化を行った国立大学歯学部が、学部学生入学定員の削減を行い、研究中心の強化を図ることを要望する。また、大学院重点化を行っていない国立大学歯学部が、近隣の国立大学歯学部と相互に連携・協力し、歯科医師養成あるいは卒後研修教育を中心とする等の機能分化を図ることを要望する。

2) 医師不足対策のための医師養成数の増を図るために、私立大学の歯学部定員の医学部定員への変更を認めることが、平成 20 年 8 月に通知されたが、国立大学においても、私立大学と同様の施策を講ずることを要望する。

3) 歯科医師の資質の向上の観点から、入学者の質を確保するための入学定員削減は重要な課題である。私立歯科大学（歯学部）においては、経営上の問題が大きな障害となっているので、財政的支援を含む入学定員削減の促進策を要望する。

【デンタルタイムス 21 速報 : 2008 年 11 月 7 日】